

統合実習	4 年・前期	1 単位 45 時間	講師 木部和枝 他
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111204

1. 授業のねらい・概要

学生は、既習の知識・技術を統合し、実習をとおして、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性と、看護専門職に必要な科学的根拠に基づく看護実践能力を養い、人々の健康に寄与できる看護実践能力を養う。学生は、質の高い看護を提供するための看護管理のあり方を学び、医療チームの一員としての看護師の役割と責任を理解し、看護師に必要な自律性を養う。また地域と連携した地域包括ケアにもとづく病院看護師の役割について考察をする。

2. 学修の到達目標

- 1) 病院における医療と看護の特徴について説明できる。(D-3)
- 2) 看護の質を保つための看護体制や工夫について説明できる。(D-2)
- 3) 医療チームにおける多職種および地域との連携・協働について説明できる。(D-2)
- 4) 患者および看護師もための病院組織・病棟の医療安全管理について説明できる。(D-2)
- 5) 病院組織・病棟の情報管理システムについて調べることができる。(D-2)
- 6) 病院の看護師の教育サポートや人材活用について説明できる。(D-2)
- 7) 主体的に実習に取り組み、学生として責任ある行動をとる説明できる。(D-1)

3. 授業の進め方

3つの実習施設に分かれ実習を行なう。実習は、看護管理者、看護スタッフと行動をともにするシャドーイング実習（病棟実習）と、チーム医療を学ぶ実習、臨床講義で実施する。実習を通して観察したことは看護管理の視点で考察し、カンファレンス、学内報告会を通して学生間で共有し学びを深めていく。

ICT活用の実施：メールによる質問等の受付を行う。

アクティブ・ラーニング型科目（実習）である。

4. 授業計画（実習/実技）

- 1) 学内オリエンテーション
 - (1) 全体オリエンテーション（4月）
 - (2) 病院オリエンテーション（後日通知）
 - ① 自己の課題、実習目標を明確にし、実習に向けて準備する。（実習計画書立案作成）
 - ② リーダー等学生各自が担う役割を決定する。
- 2) 知識確認試験（筆記試験）
- 3) 病院実習スケジュール

		場所	時間	内容	課題
1 日目		臨地	午前 9:00～12:00	病院オリエンテーション 病院・看護部・部門他	病院・看護部の概要等の理解
2 日目	月	学内	午前 9:00～16:00	実習オリエンテーション	
3 日目	火	臨地	午前 8:30～16:00	病棟オリエンテーション 看護師長、チームリーダー、スタッフに同行実習	病棟の医療・看護の特徴等の理解 *2: 課題については、病院別スケジュール参照
4 日目	水	臨地	午前 8:30～16:00	看護師長、チームリーダー、スタッフに同行実習	
5 日目	木	臨地	午前 8:30～16:00	部門別実習 医療部門・医療チームに同行実習 最終カンファレンス	
6 日目	金	学内	午前 9:00～12:00	学内報告会準備	実習の振り返り

		午後 13:00～16:00	学内報告会	と学びの共有
--	--	----------------	-------	--------

・実習記録最終提出：実習終了翌週の月曜日、指定時間までに指定場所へ提出すること

4) その他：詳細は看護管理実習要項を参照のこと。

5. 成績評価の方法・基準

実習内容（実習態度、実習内容および実習記録、レポート）80％，筆記試験 20％を総合的に評価する。
評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価表を基に，5段階評価で採点する。尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，第1回講義内で別途説明する。
知識評価試験の出題範囲と出題方法は事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト

1) 上泉和子他編集 系統看護学講座 統合分野 看護管理 医学書院 2024

2) 小澤かおり編集 看護と実践① 看護マネジメント 医療安全第4版 メヂカルフレンド社 2021

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

既習の知識・技術について実習前に十分に自己学習・演習を行い，自己学習はノートにまとめる。
（事前学習課題 看護管理実習要項参照）

8. 受講上の留意事項

- ・本実習の詳細については実習要項に記載されているので，熟読して実習に臨むこと。
- ・実習及び自己の課題や目的を明確にしたうえで主体的に取り組むこと。
- ・最終学年として，身だしなみ，マナー，感染防止対策など自己責任において行動すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

記録類は教員が内容を確認し返却する。内容が不十分なものは再提出を求める。ただし，最終日に提出された記録は個人情報保護の観点から返却しない。
課題、筆記試験に関しては，メール等でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合卒業不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護管理者としての実務経験を活かして，実習の指導を行う。